

ファミサポキャラバン 2019

ふぁみさぽ 秋まつり

11/4 (月振休) 10時～14時
あいあいセンター5階 研修室&会議室 1

カブラ、お手玉入れ、フライングダーツ、ボードゲーム、
会員手作りのゲームにたくさん子ども達が楽しんで参加してくれました。
工作コーナーではクリスマスリースを作ったり、段ボールで作ったお家や
お店など自由な作品がたくさん出来上がりました。
会員による『お話し会』も2回開催。
静かなスペースで集中してお話を聞いてくれました。
スタッフ会員と親子が交流できる良い機会となりました。



あそぼう！ためそう！ふぁみさぽ

11/25 (月) イオンモール和歌山3F イオンホール

あそびば 10時～14時

新聞紙のプールで泳いだり段ボールのお家や電車で遊べる、
自由に入出可能な遊び場を作りました。ふだんお家ではなかなか
できない遊びに、子ども達だけではなく会員やママ達も夢中になり、

中には段ボールの作品をお持ち帰りする子も。
会員による紙芝居や手遊びも人気で、
笑顔あふれる遊び場となりました



おためし 9時30分～11時30分・12時30分～14時30分

会員が1対1で子どもを預かる「おためしファミサポ」はファミサポのしくみや様子を知ってもらう良い
機会です。いつものファミサポの様式そのままに、預かる時には子どもの様子を詳しくうかがい、保育中の
様子も記録してお迎えの時に伝えました。丁寧なやりとりで、今後
ファミサポに登録して利用したいと話すママや久しぶりに一人で買い物か
できた喜んでくれたママもいて、有意義な時間となりました。



ファミサポキャラバン2019 企画会議&事前準備会

＜企画会議＞昨年までの内容を振り返りながら、休日と平日の両方ある方がいい、丸一日開いて自由に入出
できるスペースを作ろうなどの意見を出し合いました。最終的に、前年も好評だったイオンホールでの『あ
そぼう！ためそう！ふぁみさぽ』と、遊び場としては初めてあいあいセンターを会場に『ふぁみさぽ秋まつ
り』を開催することになりました。

＜全体準備会＞秋まつりに来てくれそうな年齢の子どもたちが楽しめるゲームを考えました。

＜事前準備会＞ポスターを描いたり、遊び場のレイアウトを決めました。当日の様子をイメージして安全に楽
しく遊べる工夫を考えたり、おもちゃを試作したりしました。

2019年度 事業報告 (4月～12月)

スタッフ会員になるための講習会

＜第1回＞6月25日から7月12日の6日間

＜新規登録者数＞

スタッフ会員 9名・両方会員 4名

＜第2回＞10月23日から11月15日の6日間

＜新規登録者数＞

スタッフ会員 4名・両方会員 2名



*アンケートより
子育て中のママ達にも聞いて
ほしい内容がいっぱいだった。
講義ばかりだと思っていたが、
ワークなどもあり楽しかった。

スキルアップ研修会

座談会「ちょっと気になる子と
その親のサポートを考える」

7月18日(木) 研修会13:30～

交流会14:45～

児童発達支援事業 親と子の広場・アンの保育士
右田有美さんと一緒に困りごとを抱えた親子に
どう寄り添えばいいかを皆で話し合いました。1
対1で対応できるファミサポだからこそ目の前
の子どもに寄りそったサポートができるなど、た
くさんの気づきがありました。サポートについて
の心配事なども話し合え、それぞれに考える良い
機会になりました。



会員交流会 よりみち

(提供・スタッフ・両方会員限定の会)

12月5日(木) 10時～15時

サポートを提供する側のみなさんが情報交換で
きたり、アドバイザーがじっくりお話できる機会
をと初めて企画した「よりみち」に、6名の会員
が来てくれました。日々のサポートのエピソード
やご自身のお話しなど、ゆったりお話しする時間
が持てました。



＜連載＞ファミサポ講習会講師インタビュー④

自分の子育ては一瞬、地域の子育てには一生関わられる

講習会をもっと知っていただきたいと、講師の方にお話をうかがうリ
ーインタビュー。4回目は、

「発達障がいのある子どもの理解と関わり方」
の講義を担当いただいている森下順子先生です。
子どもの障がいについての特徴と、関わり方や
預かるときに注意することを教えていただい
ています。今年度開学された和歌山信愛大学
に移られて、県内での教員を目指す学生の
教育と、様々な支援に力を注がれています。



森下 順子 先生
和歌山信愛大学 教育学部
子ども教育学科 准教授
臨床発達心理士

—先生ご自身の子育て、また様々な支援に携わってこられて、ファミサ
ポについてどんなふうにお考えですか？

子育ての途中に兵庫県から和歌山県へ移った際、あまりの環境(価値観)
の違いにしんどさを感じ、今で言うところのアウェイ育児を痛感しまし
た。楽しいはずの育児がどうしてこんなにつらいのか、まさか自分の子
育てがこんなことになるとは思いませんでした。だから、自分の子育て
時代にファミサポがあったらよかったなと思います。他府県から来た人
はもちろん、親に預けられない人もいます。ファミサポは、そんな人
たちが困ったら相談できる拠点として、また支援したい・役に立ちたい
と思う人たちの拠点として必要な所だと思います。

—講習会ではどんなことを伝えたいとお考えですか？

障がいを持っている・いないでなく、その子が持っている伸びしろに気
付けてほしいので、気付く目がたくさんあるといいと思っています。ス
タッフさんにはママ・パパの思いをうけとめながら、一緒に子どもの強
みを見つけ、伸ばしていけるようなサポートをしてもらえたら嬉しいで
すね。

—これからファミサポ会員になろうと思っている人に向けてメッセ
ージをお願いします。

依頼会員になろうと思っている人には、「子育ては長い人生の中のわず
かな時間。その時間を大切に、みんなで学び、支え合いながら、子ども
も親も楽しめるといいですね。」と伝えたいです。スタッフ会員になろ
うという人には、「ママ・パパが笑顔でいられるように、そして支援す
る人も笑顔で。」子どもは社会の宝、そう思えばみんなおせっかいにな
れるし、社会での子育てには一生関わられます。ママ・パパに「頼ってい
いよ・皆で育てたらいいよ」と伝わったらいいですね。

次回講習会は2020年2月4日(火)から始まります。
講習会受講ご希望の方は、センター(073-424-3770)
までお問い合わせいただくか、チラシをご覧ください。